

平成29年度 競 技 要 項 (案)

連盟公式大会

種目	競技会名称	競技方法	セット
6人制(男女)	ランク戦	別途定める	3
	優勝大会	シード制トーナメント	3
	鳴川杯クラブ選手権大会	ランク制トーナメント	3
9人制(男女)	ランク戦	別途定める	3
	優勝大会	シード制トーナメント	3
	鳴川杯クラブ選手権大会	ランク制トーナメント	3

2. 競技規則

(1)6人制 平成29年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。

(2)9人制 平成29年度(公財)日本バレーボール協会9人制競技規則による。

ただし、ネット・コートの規格は次の通りとする。

種目	ネット	コート
6人制	男子 2.43m	18.0m× 9.0m
	女子 2.24m	18.0m× 9.0m
9人制	男子 2.38m	21.0m× 10.5m
	女子 2.15m	18.0m× 9.0m

※但し6人制ランク戦については、男子2.40m・女子2.20mとする。

(注)参考……関連競技会のネットの高さ

全日本クラブカップ 2. 43m(6人制男子) 2. 24m(6人制女子)

近畿クラブ選手権大会 2. 43m(6人制男子) 2. 24m(6人制女子)

近畿総合・国体 2. 43m(6人制男子) 2. 24m(6人制女子)

(3)使用球

(イ)(公財)日本バレーボール協会検定カラー5号球とする。

(円周65~67cm、重量260~280g、内圧…6人制:0.30~0.325kg/)

(ロ)使用球は試合毎に各チームで準備するものとする。

3. チームの構成

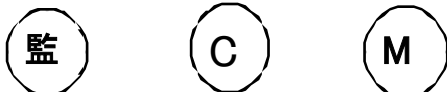
(1)6人制は、監督・コーチ・マネージャー各1名及び選手14名以内(2名のリベロ含む)とする。

(2)9人制は、監督・コーチ・マネージャー各1名及び選手15名とする。

(3)同一競技会の同一種目において、選手は他のチームの選手を兼ねることはできない。

(4)監督・コーチ・マネージャーは下図のとおりマークを着用しなければならない。

(監督) (コーチ) (マネージャー)



(イ)直径6cm程度の円台にそれぞれ監・C・Mの字をつける。

(ロ)色は自由とし左胸部につける。

4. 表彰・予選会等について

種目	表彰	予選会等について
6・9人制ランク戦	各ランクの1位に表彰状を授与	鳴川杯のトーナメントシード抽選位置につながる
6・9人制優勝大会	優勝 賞状・副賞を授与	近畿6・9人制バレーボールクラブ選手権大会推薦チーム選考会を兼ねる
	準優勝 賞状を授与	
	3位 賞状を授与	
6・9人制鳴川杯 クラブ選手権大会	優勝 賞状・鳴川杯・盾を授与	次年度近畿6・9人制バレーボール総合男子・女子選手権大会 推薦チーム選考会を兼ねる 但し、鳴川杯は持ち回りとする
	準優勝 賞状を授与	
	3位 賞状を授与	

5. その他留意事項

- (1) 試合に出場する選手は、(公財)日本バレーボール協会登録規定に従って「クラブ」に登録されていなければならない。選手は常にJVAメンバーカードを携行して、照会の要求があれば、すぐにそれに応えなければならない。
未登録選手や不正選手の出場が判明した場合、その試合を没収する。また、原則として当該チームにペナルティを課す。ペナルティの内容については、競技運営委員会で協議決定する。
- (2) ベンチには有効に届け出された監督・コーチ・マネージャー各1名、選手15名(6人制14名)以内、計18名(6人制17名)以内の着席を認めるが、他の者の着席は一切認めない。
- (3) 競技者の服装については、公式の親技規則及びこの競技要項の定めに従うこと。尚、違反選手については原則として出場を認めない。
- (4) 棄権については各競技要項に明記しています。ランク戦の棄権については、前日までに連絡すること。無届の場合にはペナルティを課す場合がある。
- (5) 試合当日、チームは会場へ受付時刻に必ず集合し、代表者は直ちに競技の受け付け手続きを行うこと。受付開始時刻から15分以内に受付手続きを終了しなければ棄権とする。また、代表者は受付時の打ち合わせに必ず出席しなければならない。
- (6) 試合会場で定められた時間にチームがコートに参集しない場合は試合没収の処置をとる。定められた時間とはトス実施時刻を15分経過した時間とする。トスは、第1試合については受付終了時刻に、第2試合以降は前試合終了時に実施する。
尚、試合はすべて追込み方式で実施する為、各チームで試合の進行状況や時間管理に充分留意すること。また、食事・休憩等で会場を離れる場合も必ず連絡者を残すこと。
- (7) 試合が前試合と連続になる場合は、前試合終了後10分を限度として次の試合を実施する。
- (8) 各チームは円滑な競技運営に協力する義務を負うものとし、試合に必要な審判員、記録員・点示員等の要員の選出をすること。したがって、当連盟が開催又は案内通知する講習会・研修会等に必ず出席し、その義務を遂行できるよう心がけることが望ましい。
- (9) 試合会場における各チームの行動については責任者がよく監督し、スポーツマンとして恥じない行動をとるよう留意すること。
特に当連盟では、公共施設・企業施設・学校施設を利用することが多いため、使用会場の注意事項を厳守し、使用設備・機器類の取り扱い、会場の整理整頓には全チームで協力する義務を負うものとする。
- (10) チームの所持品、脱衣物、ボール等の管理は各自チームの責任において十分な注意をすること。盗難事故等については当連盟は一切責任を負わない。
- (11) 会場内の負傷については応急の手当てに協力するが当連盟は一切責任を負わない。
各チームにおいては、常時選手の健康診断等は責任をもって行い健康管理については充分留意されたい。